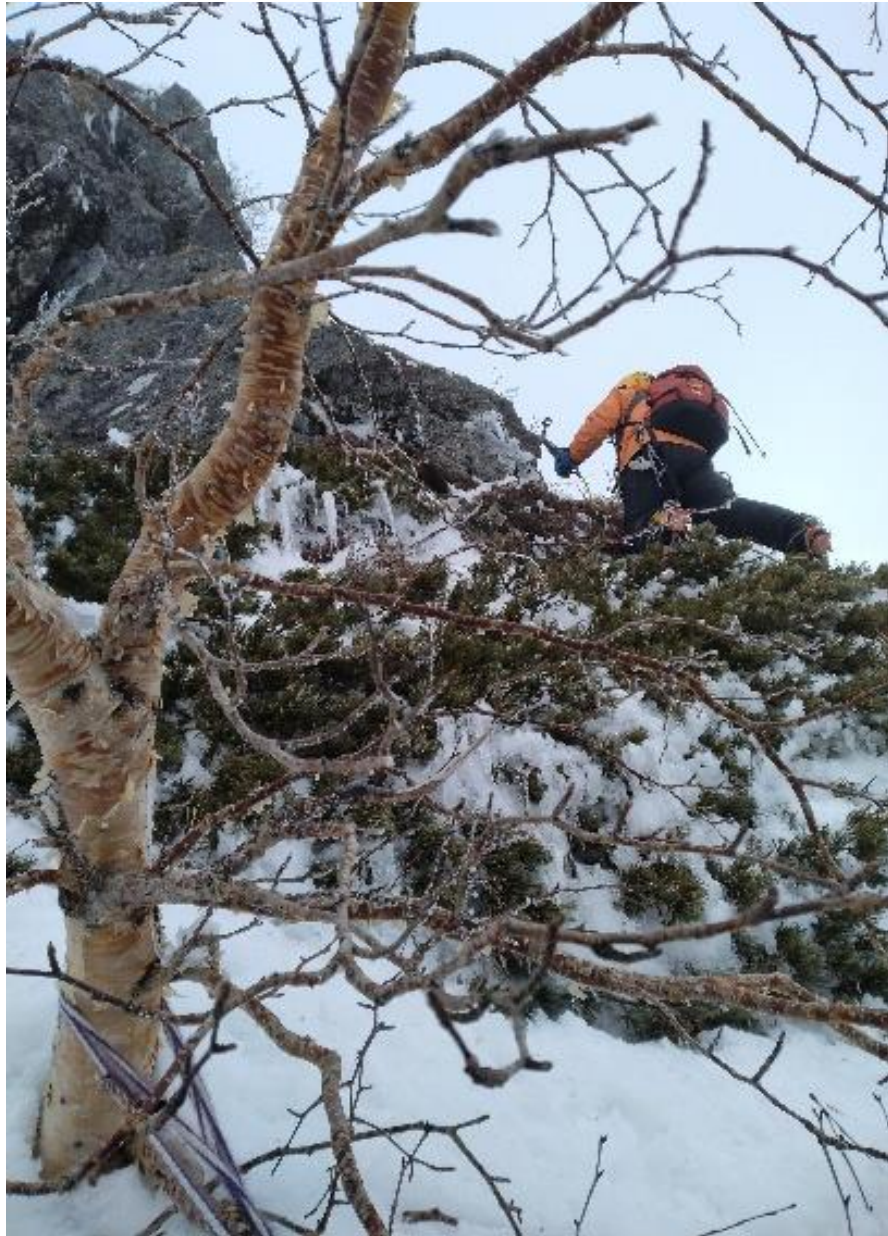


赤岳東稜線



東稜核心部（ベルニナ鎌田代表）

期 間：2024年3月30日（土）～31日（日）
種 別：ベルニナ、緑、横須賀、合同山行
山 域：赤岳東稜線
参 加 者：鎌田健二（L）、Ayaさん、河本嘉照（記）

コースタイム：

初日

6:34 県界尾根登山口 7:07 大門沢分岐 8:16 真教寺尾根 10:10 牛首山（幕）11:52 扇山 14:00 標高2500m付近 14:49 幕場

二日目

4:04 幕場 5:12 標高 2500m 付近 6:14 下部岩峰 8:07 雪稜 8:30 上部岩峰 9:47 草付キルンゼ 11:07 竜頭峰 11:20 真教寺尾根 14:11 幕場 15:38 大門沢分岐 16:00 県界尾根 登山口

記録

初日

県界尾根から大門沢をトラバースし、真教寺尾根へ向かうルートを選択したが、トレースは無く終始モナカ雪状態で体力を奪われる。ワカンが必須アイテムであった。それでも標高 2300m 付近に早々に幕張を構築できた。その後、すぐに標高 2500m 付近までトレースを付け標高 2300m 付近の幕張まで戻った。初日にできる事はやりきった。

2日目

早朝は気温低下、並びにトレースを付けたかいもあり、出発からアイゼン歩行が可能となった。標高 2500m 付近から大門沢をトラバースし、東稜へ抜けたがこの大門沢は雪崩に十分注意したいところ。東京の最高気温が 25℃という予報日だったが、この日の早朝の赤岳東面は 0℃以下だったと思われる。雪崩の心配もなく、迷わず歩を進める事ができた。東稜に乗ってからも、所々腹まで埋まる踏み抜きを食らわされるが、そこは根性で乗り切る。それなりに体力を消耗し、取付き(下部岩峰)に到着する。ここはトポ上では左に巻き、Ⅲ級程度のクライミングとされていたが、ルートミスなのか、我々は直登し体感ではⅣ級程度に感じたが、逆にそれが良いアクセントとなった。その先は 150m 程の雪稜歩きだが、慣れたパーティーならロープを畳んで進んだ方が早いと思われる。我々は一応安全に配慮し、スタカットで進んだ。雪稜を終えると上部岩壁だが、ここも左巻き(Ⅲ級)が簡単だとされているが、我々は右巻きを選択。自分が登れる、また、登りたいと思うルートを選択するのがアルパインクライミングの醍醐味だと私は思うのだが、このピッチも実にアルパインらしい、スリリングなピッチとなった。上部岩壁を終え、その先は左の草付キルンゼを選択したが、ここは丁度良い感覚で立木に支点が取れ、また雪の状態も頗る良く、ダブルアックスでサクサク通過。草付キルンゼを終え、もう 1 ピッチ程ロープを伸ばし、竜頭峰へ到着した。竜頭峰から真教寺尾根の降りだか、下山時に事故が起こりがちなのは言うまでもない。チェーンも所々埋まっっていて、また凍っている箇所もあり十分注意が必要。標高 2300m 付近の幕張までアイゼン歩行し、そこから大門沢への分岐までは何も着けず歩行可能であった。大門沢から県界尾根へのトラバースは雪の状態が悪く、ワカンを装着。ゴールまで夏道で 1 時間程の距離ではあるが、手間を惜しまずワカンを装着した方が早く降る事ができると思われる。

感想

今回は、ベルニナ山岳会、緑山岳会、横須賀山岳会の三会合同山行となったが、やはり他会の方との山行は学びが多い。46 歳にして、まだまだ伸びしろがある自分の人生は豊かであると、幸せに感じた山行となった。

最後に、今回飛び入りにも関わらず、二つ返事でこの山行の帯同を認めて下さったベルニナ鎌田代表、並びに Aya さんには本当に感謝いたします。また、今週の鹿島槍は体調不良により参加できずに申し訳ございませんでした。またご一緒できる日を楽しみにしております。迷惑掛からぬ様、日々精進したいと思います。今後とも、宜しくお願い申し上げます。



雪稜は安定していた



最後の詰め

(記録) 河本嘉照